

高速道路機構の主な課題と取組み（令和4年度）

1. 機構としてのミッション

- 道路資産の適切な保有・貸付け
⇒ **アセット・マネジメントの最適化**
- 債務の早期・確実な返済への筋道付け
⇒ **デット・マネジメントの最適化**
- 国民負担の軽減と会社による円滑な実施への支援
⇒ **アセット・マネジメントとデット・マネジメントの総合**

2. 機構が直面する事業環境の変化

- 借換需要の大幅減少と債務引受額のバラツキ
⇒年度毎に資金余剰と多額の資金調達需要の発生が繰返される
- 国際情勢の変化、自然災害の激甚化・頻発化等による事業環境の不確実性増大
⇒上記資金収支の変動が更に拡大
- 国策としての国土強靱化政策に基づく累次の事業要請への対応のための必要資金確保と適切な債務管理を両立する必要性が高まっている
- 経済・金融ボラティリティの上昇、資材費・労務費等の高騰によるコスト増
- 国の政策として推進する脱炭素の取組み、DX化の取組みを高速道路グループ全体で具体化する必要性が高まっている

3. 機構としての主要な課題と対応

(1) 債務の早期かつ確実な返済 ⇄ デット・マネジメント

- 効率的な債務返済のための資金調達
 - ・借換えに伴う金利上昇リスクの軽減や効率的な債務返済を継続的に行うための調達年限等の設定
 - ・資産帰属計画の活用・会社発行債券の年限調整も含めた債務引受額の平準化
 - ・投資家の維持拡大による資金調達力の維持

(2) アセット・マネジメント ⇄ 必要な道路整備と適正な管理水準の保持への支援

- 将来の確実性を担保する協定締結・変更
 - ・債務返済の確実性担保と国策としての事業要請に応える投資額確保、管理水準適正化へ必要な投資額や計画管理費設定というトレードオフを両立する協定締結等
 - ・適切な事業費見直し、脱炭素、DX化の高速グループ全体での取組みを促進する協定作り

- 事業管理の着実な実施
 - ・会社・機構が一体となり、アウトカム指標に係る課題を整理し利用者の視点を重視した見直し
 - ・インセンティブ助成制度をメンテナンス時代に即して改善
 - ・システム化推進等による権限代行等の効果的・効率的実施
 - ・鉄道施設の管理、鉄道事業者への貸付・利用料徴収等への対応
- 国民負担の軽減に資する資産の有効活用
 - ・連結、入札占用の適正・効果的实施
 - ・未利用地処分、不法占用解消に向けた継続的な取組み
- 高速道路の進化・改良に向けた調査検討の推進
 - ・SA・PAの駐車容量・効率の向上、大型車長時間駐車対応
 - ・新たな需要への対応（カーボンニュートラル）
 - ・将来の社会的要請への対応（自動運転の支援等）

(3) アセット・マネジメントとデット・マネジメントの総合

- 資金マネジメント
 - ・長期的な資金収支を見通し、国民負担を最小化するべく資金収支を最適化するようコントロール
 - ・債務の早期・確実な返済に繋げるよう債務返済と資金調達の水準を最適化
 - ・道路会社と一体となった資金マネジメントを推進

(4) 課題遂行を支える事業基盤の強化（組織力・人材力の強化）

【組織力・人材力強化及び業務運営の効率化】

- ・機構課題を見える化したアクション策定とモニタリングによる組織力強化及び業務運営の効率化
- ・スキル把握、人材確保・育成、人事評価の継続的な実施による人材力強化

【デジタル化の推進・環境整備等】

- ・基幹LANの更新等による機構内システムの適切な整備及び管理
- ・リモートワーク、Web会議の積極活用によるデジタル化の推進・ワークライフバランス実現